



# しおかぜだより



## 鶴原施設長のお役にたてば情報 第23回

### 【新型コロナウイルス感染症とワクチンへの期待と誤解】

日本において昨年1月に1例目の発生を認めたコロナ感染者数は感染対策による増減を繰り返しながら4月現在第4波の増加を認め国民にコロナ疲弊感が漂っています。今年に入りワクチン接種も開始されましたが国内接種率は4月初旬現在いまだ1%以下と極めて低くオリンピック開催も大丈夫かという不安感が国民のなかに漂っているのも報道等で伺われます。また医療従事者やクラスターが発生した介護施設従業者への誹謗中傷、罹患者への誹謗中傷等心貧しい行為が報道され精神的文化の低さが問われています。

高齢者感染者の重症率、死亡率が高いことより高齢者が利用される介護施設ではコロナ感染対策委員会を中心に「コロナを持ちこまない」、「発生させない」を合言葉に様々な対応がとられています。やわらぎにおいても昨年3月から毎月2-3回コロナ対策委員会を開催し種々対策を実施継続中です。そのために利用者様、そのご家族様に何かとご不便をおかけしていますが、みなさまのご理解とご協力のもと施設利用者感染者、従業員感染者なしの状態を維持しています。

さてワクチンに期待する声は大変大きいといえます。しかしワクチンに期待しすぎてはいけなと言われてしています。皆様が毎年接種されているインフルエンザワクチンの効果は、かからなくすることではなく、重症化の予防です。コロナワクチンも接種するとかからなくなるという証拠はないし、他人に感染させる危険性が減るという証拠も今はまだありません。高齢者へのワクチン接種は、重症化を防ぐことで感染症病床や集中治療室への多大な負荷を減らすことが期待されます。そして医療従事者や介護職員に接種することで重症化を予防し医療と介護崩壊を防ぐことが最大の目的です。しかし健常者や若者はワクチンを打つことで自分がかからなくなると誤解をしないでだろうかとの不安があります。ワクチン接種は3密制限解除の免罪符ではないことを自覚することが大切です。

コロナウイルスの変異株が問題になりワクチン効果等の報道がなされていますが、私たちがすべき現在の行動はワクチン接種、非接種にかかわらず3密を避け、マスク着用と手指消毒、手洗いの励行、2mの距離をおいた人との接触、十分な換気に勝る行動はないと考えます。



## ～ひな祭り～

ひな祭りは、女の子の健やかな成長を願う行事になります。

「桃の節句」とも呼ばれ、ひな人形に桜や桃の花、雛あられや菱餅などを飾ったり、ちらし寿司等の料理を楽しむ節句祭りの一つになります。

やわらぎでも各フロアごとに、ひな祭りを開催しました。利用者様とひな祭りの歌を唄ったり利用者様の居室に伺ったりと普段のレクリエーションとは一味違った時間を過ごしました。歌に合わせて口ずさんだり、手拍子をしたり、利用者様の表情にも笑顔が見られました。職員の扮したお雛様を見て皆さん喜んでおられました。



## ～職員紹介～

この春、人事異動で博愛病院から3名の仲間が加わりました。宜しくお願い致します。



氏名 岡本 和子  
(おかもと かずこ)

部署 入所部  
職種 看護師(副主任)

利用者様の思いに寄り添い、在宅に向けて不安なく過ごしていただけるよう支援していきます。  
利用者様に安全・安心のケアを提供します。



氏名 本田 恵子  
(ほんだ けいこ)

部署 入所部  
職種 看護師

接遇に心掛け、倫理的配慮ができるよう努めます。笑顔で働けるよう頑張りますので御指導をお願いします。



氏名 北村 幸江  
(きたむら ゆきえ)

部署 入所部  
職種 介護福祉士

ご利用者様への声かけや対応を分かりやすく丁寧に、寄り添う気持ちを大事にしていきたいと思っています。

## ～デイケアだより～

### 《花見》



デイケアでは春先の暖かな日に施設に咲いている桜の木を囲って花見を行いました。昨今のコロナウイルスの影響で外出を自粛されていた方も多く、距離をとっての花見となりましたが春の陽気の中で思い思いに楽しんでおられました。



### 《創作活動》

デイケアで午前中に実施しておりますグループ活動の中から、今号は「創作活動」の作品と作業風景を一部紹介いたします。

#### ①桜の貼り絵

施設に咲く桜の木をモチーフに取り組みされた作品です。皆さんの創造力や、アイデアで画用紙の上に様々な桜が咲きました。

#### ②こいのぼり

折り紙やフェルトを使用してこいのぼりを作成されました。材料から工夫して、小さなこいのぼりをひとつひとつ丁寧に仕上げられました。完成して可愛らしいたくさんのおいのぼりが舞うのを、多くの利用者様が楽しみにしておられました。



「創作活動」では、絵画、塗り絵から折り紙や和紙を使った作品、段ボール・牛乳パック、竹細工、木工等幅広いジャンルでの作業を行っています。一つの作品を2～3週間かけて作られる方もあり、細かい作業や想像力豊かな作品制作など個々に楽しみながら取り組んでおられます。また、交流の一環として共同制作にも取り組んでおります。現在はコロナウイルス感染防止のため共同での作業は行っておりませんが、皆さんで力を合わせた作品制作が1日も早く行えるよう願っております。

興味のある方は創作活動への参加をお待ちしています。作品展示スペース「散歩道」も随時作品を更新しておりますので、皆さんご覧ください。

## ～リハビリ室だより～

リハビリをされていて、「ビンのふたが固くてなかなか開かない！」というお困りごとを時々利用者様からお聞きすることがあります。

その際には、百円均一で売っているボトルオープナーという自助具や、滑り止めマットの活用をお伝えしています。今回は、滑り止めマットの使用方法を写真付きでお伝えできればと思います。

皆様も、固くなったビンのふた、素手では滑ってしまい、布巾などでおさえて開けることはありませんか？そんな時に、布巾の代わりにすべり止めマットを活用すると、素手よりも、布巾よりもすべりにくく、しっかりとふたをおさえることができるため、簡単に開けることが可能になります。

手の力をリハビリでつけることも大事ですが、道具1つで環境を変えるだけでも、生活上のお困りごとが短時間で解決できる場合もございます。

小さくカットしたすべり止めマット。1枚キッチンに置いておくと便利かもしれません。



### 1日おためし体験のお知らせ

デイケアでは毎週月曜日から金曜日の  
9:30～15:30迄の時間でおためし  
体験を受け付けております。

※県内西部地区のコロナ発生状況によっては  
中止する場合もございます。

対象者…介護認定を受けられた方

【内容】…健康チェック・レクリエーション・入浴・  
グループ活動(体操・脳活性・創作)等

【見学】個別リハビリ・施設内案内  
費用…昼食(おやつ代込み) 650円  
ご家族同伴・送迎(車イスでも可)も  
承っておりますのでお気軽にお申し  
込みください。

お問い合わせ (担当 判田)

しおかぜだより 56号(2021年春号)  
2021.5月発刊

社会医療法人同愛会

介護老人保健施設やわらぎ

〒683-0801 鳥取県米子市新開4-11-13

TEL (0859) 31-1000

FAX (0859) 31-1003

H P <http://www.douaikai.net/>

E-mail [yawaragi@douaikai.net](mailto:yawaragi@douaikai.net)

以下のQRコードからご覧頂けます。

